

基礎経済科学研究所

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第892回ゼミ報告] 2024年12月20日号

長い夏が過ぎ、急速に冬へと進む日々、この1週間、日本列島の南から北へ、北九州・神戸・千葉・北海道の町々で、師走とはいえ殺傷事件が……
12月11日のゼミは、斎藤幸平『マルクス解体』の最終、第7章「脱成長
コミュニズムと富の潤沢さ」を後藤さんの報告で行いました。脱成長に対し
て政治的な支持が広がっているが、マルクス主義者は脱成長に適切に応答で
きずにいる。資本主義と社会主義に代わる第三の道へ脱成長が転機となり、
脱成長コミュニズムがポスト資本主義のヴィジョンの具現化の試みである。
本源的蓄積は経済領域だけでなく自然環境の悪化と密接な相互関係がある。
富には資本と相いれない独自の性質があるが、使用価値から価値へと従属さ
せられ、物質代謝の亀裂として現れ、資本主義の発展とともに世界は商品化
され、文化・技能・知識は貧困化し、社会や自然の富への犠牲により、資本
主義は飛躍的資本蓄積を実現した。本源的蓄積が第一の否定とするなら、コ
ミュニズムは否定の否定として、協業・土地と生産手段の共有を基礎に個人
的所有を再建し、富のコモン化を求める。マルクスの脱成長コミュニズムは
重要な未来社会の理念であり、それが幻想かどうか、歴史的審判を待つ。
討論では、論点が多々あったが、コモンの再建で生産力・GDPは減速する
のか、また欧米の環境問題に対し日本の早くからの公害問題との相違、等々。
会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さ
ん・竹内さん・後藤さん・田中さん・井貝さんの合計9名の参加でした。

* 12月25日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 829 9242 9537 パスコード: 443267

* 『マルクス解体』は前回で終わりました。次々回1月8日ゼミは、我らが
ゼミに第1回から参加の小野満さんの新著『生産力、情報と地域、学びの
ダイナミズム—中小企業と市場からの視座』社会評論社 (2024/12/6)への感
想・問い等をゼミ参加者各人から10分、回答5分で行い、構想・執筆な
どの日々、著書に込めた思いなどを小野さんから語っていただきます。

* 前号の「討論では」の記述のうち、「大塚史学は商業資本から」は、「大塚
史学は商業資本ではなく中産的生産者層から」に訂正します。竹内さん・
後藤さん、ご指摘・ご助言ありがとうございます。

* 『資本論第3巻』著者「佐々木さんと議論する会」は、3月26日午後5
時半～8時、オンライン併用で行います、所内の方々もどうぞ。

***** ゼミ日程 *****

12月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』5章 利子と企業利得・利潤の分裂 小野さん

1月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

小野満・新著『生産力、情報と地域・』の感想・問答・議論・語る会

1月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』6章 超過利潤の地代への転化 報告者未定

その後 2/12, 2/26, 3/12, 3/26 [アイクルの部屋]

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso